

投資事業評価調書 (新規)・継続)

部 局 課 室 名	教育委員会事務局 文化財課	記 入 者 職 氏 名	文化財課長 山下 史朗 〔主幹 中村 弘〕
--------------	---------------	----------------	--------------------------

1 事業の概要

事業名	考古博物館加西分館の増築	総事業費 (概算)	358,000千円
		30年度2月補正 予算計上額	358,000千円

所在地	加西市豊倉町飯森1282-1 兵庫県立フラワーセンター内
事業目的	世界的にも貴重な千石コレクション唐時代の金銀器等を常時展示するとともに、積極的に県内外に情報発信するため、考古博物館分館を増築して展示施設を整備する。
事業内容	<p>1 整備年度 2018年度～2020年度(3箇年事業)</p> <p>2 整備内容 展示室及び展示用什器の整備等</p> <p>3 整備面積 275㎡(見込)</p> <p>4 主な機能 既存の青銅鏡に金銀器等を加えた幅広い展示を行えるよう博物館として必要な機能を有するとともに、資料の保管管理に万全を期するため、防火・防犯に優れた鉄筋コンクリート造りとする。</p>
事業スケジュール	<p>2019年 3月～ 設計</p> <p>2020年 3月 工事入札・契約</p> <p>4月 建築及び展示工事着工、事業計画・展示準備</p> <p>2021年 3月 建築工事、展示工事完成(予定)</p> <p>4月 開館(予定)</p>

2 基準に基づく評価

項目	説 明
必要性	平成29年度に開館した考古博物館加西分館に、新たに唐時代の金銀器等の寄贈を受けることから展示スペースが必要となるため、既存施設を活用しつつ、多様な館蔵品を常設できる展示室を既存の施設に増築する。
有効性・効率性	既存の施設で展示している青銅鏡に加えて古代中国に関する世界的に評価の高いコレクションを一体的に展示することができるため、加西分館が所在するフラワーセンターの集客機能が強化され、資料内容からインバウンドの増加も期待される。
環境適合性	<p>建築部材等において可能な限り省エネ化を図ることで環境に配慮するとともに、施設の維持管理に要するエネルギー使用料の抑制・効率化を図る。</p> <p>(1) 照明にLED灯を導入</p> <p>(2) 効率的な空調設備の導入</p> <p>(3) 断熱性の高い壁の使用 等</p>
優先性	世界的なコレクションであり、県内外からの関心が高く、早期常設展示が望まれている。

3 審査会意見

審査会 意見	
-----------	--